

国語 十三—一	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

とく
り
組
んだ
日
月
日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。
ぶんしょう
ただ 正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

このお話は、手塚治の小さいころのできごとです。
はなし てづかおさむ ちい

お母さん、頭あたまがいたいよ。
 だいじょうぶ、きつとよくなるからね。

お母さんかあは治おさむのまくらもとで、やさしく声こえをかけました。

国語 十三—二	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

とく
り
ぐ
んだ
ひ
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっ

ただ ばしよ

ません。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

いえ かえ

フローレンスは家に帰ると、お母さんにたず

かあ

ねました。

キースさんは、なぜおこっていたのでしよう。

かあ

そうね。どうしてかしらね。お母さんもわから

ないわ。

かあ

こた

お母さんは、答えました。

国語 十三—三	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)			
		名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ
				番 ばん

取り組んだ日
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっている

ただ ばしよ

ません。正しい場所にかぎ(「」)をかきました
よう。

て なか

手の中でこわがっているように見えるツユム

はな

シに、アンリは話しかけました。

とり

おも

ぼく、鳥だと思ったよ。おもしろい声で鳴くん

こえ

な

だね。

もと くせ

アンリはツユムシを、元の草むらにそつとはな

してやりました。

とく
り
組
んだ
日
月
日

国語 十三―四	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名まえ 年 組 番
------------	----------------------------	--------------------

ぶんしょう
つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっ
てい
ません。ただ、正しい場所にかぎ(「」)をかきまし
よう。

けんじ
賢治はにっこりとして、それからみんな
に言いました。

そと
さあ、外でいっしよにあそぼうよ。

げんき
みんなはいつものように元気に外へと

だ
び出していきます。

国語 十三―五	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日 月 日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。
ぶんしょう
ただ 正しい場所にかぎ(「」)をかきました。
た よう。

ある日のことひです。びよう気きのおじいさんいがひとりですんでいる家いえに、行くこといになりました。

こんにちは。キースさん。フローレンス
 です。ふくとパンをもってきました。

ドアの外そとから声こえをかけました。